

## 大森浜の海岸浸食と砂の堆積 6-イカ看板を襲った悲劇-

海老名朱梨<sup>1\*</sup>, 熊澤果奈<sup>1\*</sup>, 立石美樹<sup>1</sup>, 野澤優佳<sup>1</sup>, 小笠原史佳<sup>1</sup>, 岡田結衣<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 遺愛女子中学・高等学校

私たちのクラブは津軽海峡沿岸の函館市大森浜（亀田川河口右岸側 600m）で 2006 年から定点を設けて簡易測量を行い、砂浜の地形と砂粒組成の変化を調べてきた。2009 年 12 月以降西側で浸食が進み始め、2011 年 3 月下旬には西側の砂浜が失われ立っていた看板が倒れてしまった。浸食が進み始めた時期には南西風の嵐があり、浜に出現した比高約 2m の崖の方向が南西風による砕波方向と同じ南西—北東方向であることから浸食の原因は南西風の嵐と高い潮位であると考えた。地形断面をもとに移動した砂の量を推算すると、西側で浸食された砂は東側堆積しているがその量は等しくなく一部は失われていることがわかった。水槽を使ったモデル実験と砂粒分析の結果から浸食のしくみと砂の移動について考察する。